

印刷業界へ、
漫画でエール！

新春特別インタビュー

染谷みのる先生

『刷ったもんだ！』（講談社・週刊モーニング連載中）



真白の目が印象的な1巻の表紙。帯の色はDIC-584B（書店で確認して下さい）©染谷みのる／講談社

『刷ったもんだ！』は講談社の週刊モーニングに好評連載中の印刷会社を舞台にした「お仕事漫画」だ。

2020年の1月16日発売の7号から連載を開始。連載当初からリアルな「印刷会社あるある」が印刷会社のSNSなどで取り上げられ話題になっていたが、7月に単行本が発売されると一気に火が付いた。

印刷業界人はもちろん、本好きや同人誌制作経験のある人にも、また、「お仕事漫画」としても楽しく、考えさせる作品になっている。



そめや・みのる

漫画家・イラストレーター。作品に『サンタクローズの候補生』全2巻（芳文社）、『君はゴースト』全2巻（祥伝社）。2018年46号の読み切り『あなたに耳ったけ！』で、『モーニング』初登場。書籍の挿絵も多数手がける。個人サイト→<http://asapi.client.jp/>

STORY

「西中の白虎」と恐れられていた元ヤンの真白悠（ましろ・ゆう）は、デザインの仕事につきたい夢を追いかけて、その結果、東京近郊にある中小印刷会社に就職した。もちろん、昔の悪名はひた隠しにして…。

大好きな漫画に触れる仕事ができ、心も躍るが、クセの強い先輩たちに印刷会社あるあるの洗礼を受けたり、ヤンキー気質のボロが出たりと、前途は多難！？

何事にも一途な真白が、印刷会社の荒波にもまれながら奮闘するお仕事コメディ開幕！

11月には単行本の2巻も発売され、印刷業界人なら目が離せない『刷ったもんだ！』。

作品内の「印刷会社あるある」がリアルなのは、著者の染谷氏が実際に印刷会社に勤務していた時の経験がベースにあるからだ。

また、『モーニング』誌上では、実際に印刷会社も取材されており、読者のみなさんも取材対象になるかもしれない！？

新春特別インタビュー 染谷みのる先生

虹原印刷株式会社

主幹 企画デザイン課

人物紹介

<p>赤沢俊夫</p> <p>課長。物陰からいが、稀めるところは解る。みんなの頼れる先輩。</p> 	<p>永昭子</p> <p>社内事情に精通したベテランの先輩。世話焼きでおしやべり好き。</p> 	<p>真白悠</p> <p>関西出身の新人社員。「西中の白虎」の悪名を持つ元ヤンであり、虹原ではそのことを隠して生活している。家は離れオタクで、漫画家・金森幸也先生の大ファンである。オタク活動時の「真白」にぎらい。気合と腕力は人並み以上。</p> 
<p>田基晴</p> <p>サーバー管理やネットワーク、ドローン撮影を得意とする。元部活の愛顧師。</p> 	<p>井美千代</p> <p>主に同人誌製作を担当。実は自分自身も同人作家。手際が早く、定時の守備隊。</p> 	<p>瀬宏文</p> <p>業界最大手・天空印刷社長の子息。ストイックな性格で、仕事は正確かつ速い。人の目を合わせられない。近い距離で話すが、あまり話さない。天然な一面も。真白と同じ金髪生アフロヘアは、こゝろん…</p> 
<p>野さなえ</p> <p>主にアルバム製作を担当。優しく丁寧で、天然の天然の美人。実はかなり力持ち。</p> 	<p>崎祥太</p> <p>映像製作担当。お菓子好きでチャラい。後輩、櫻野さんの大ファン。</p> 	

©染谷みのる／講談社

本誌では新春にあたり、染谷氏に書面でインタビュー。染谷氏から印刷業界へ、エールをもらった。

いつか印刷業界のことを描きたいと思っていた

——印刷業界をテーマにしたマンガはあまりないのですが、印刷業界をテーマに描こうとしたきっかけについて教えてください

いつか描きたいなという気持ちは印刷会社で実際に働いていたときから何となくは持っていました。

というのも、仕事の内容も環境も面白かったからです。

ただ、実際漫画にすると考えると、派手なアクションや劇的なドラマがあるわけでもないので、難しいだろうと思っていました。

また、内部の事情を知りすぎていると、描きやすいこともある反面、描きにくくなることもある（「こんなことありえない」と思うとすぐブレーキをかけてしまうため話が膨らみづらい）ので、少し抵抗もありました。

ただ、編集さんと新連載をどうするか話し合ってい

た際、最近まで印刷会社で働いていたという話を少ししたら「それでいきましょう！」ということになりました。

仕事内容に派手さがあまりないのであれば派手な動きをしてくれそうなキャラクターを考えよう、と練っていき今の形になりました。

——企画デザイン課の人物・キャラクターがそれぞれとても魅力的ですが、人物・キャラクターの設定はどのように決めましたか

まずメインにあたる2人（真白と黒瀬）を考えるとところから始めていきました。

当初主人公の真白は明るく元気で猪突猛進な女性、黒瀬は仕事はできるがぶっきらぼうな先輩（関西出身で元ヤンかも？）という設定だったのですが、主人公のキャラが弱いとの指摘が入り、悩んだ末に黒瀬の元ヤン設定を持つてくることにしました。

そしてこの元ヤンとそりが合わないようなタイプを考えていき、現在の黒瀬（超ストイックな御曹司）が出来上がりました。

企画デザイン課の人数自体は7人程度がいいと考え